

# 財団法人地域創造が取り組む事業

---

## 1. 財団法人地域創造について

### ● 設立の目的

自ら考え、創り、表現し、感動するなど多様な自己表現を図り、いきいきと心豊かにくらすことのできる地域社会づくりを目指して ―

財団法人地域創造は、地方公共団体関係者が設立者となり、1994年9月30日に設立されました。設立の目的は、芸術文化の振興によって創造性豊かな地域づくりを実現することにあります。そのため、全国の地方公共団体や関連の公益法人が実施する芸術文化活動に対して財政的な支援を行っています。また、財団の自主事業としては、研修交流事業、公共文化施設の活性化事業、情報交流・調査事業などに取り組んでいます。

### ● 事業概要

財団法人地域創造の事業には、地域の芸術文化環境づくりに努める地方公共団体等のプロジェクトを財政的に支援する「支援事業」と財団の企画による「自主事業」の2部門があります。

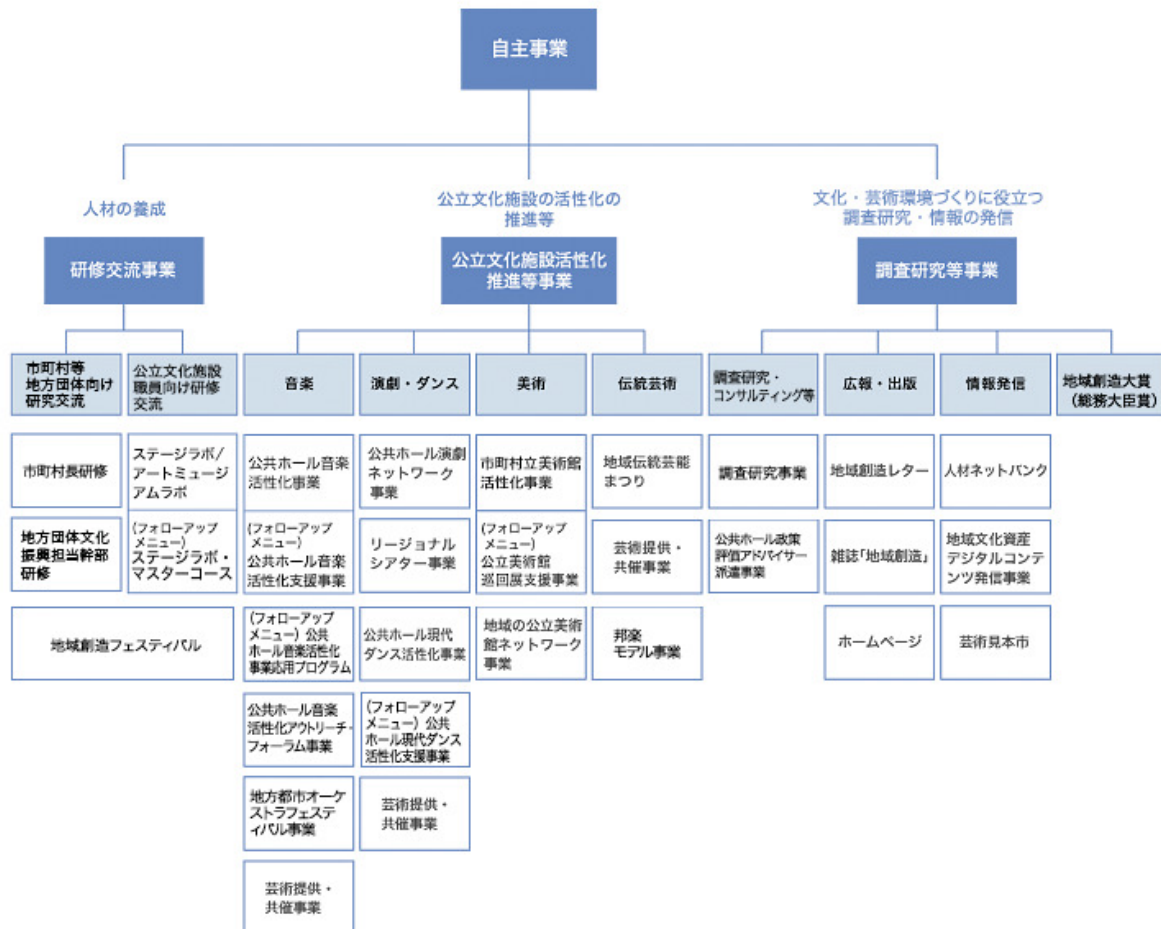
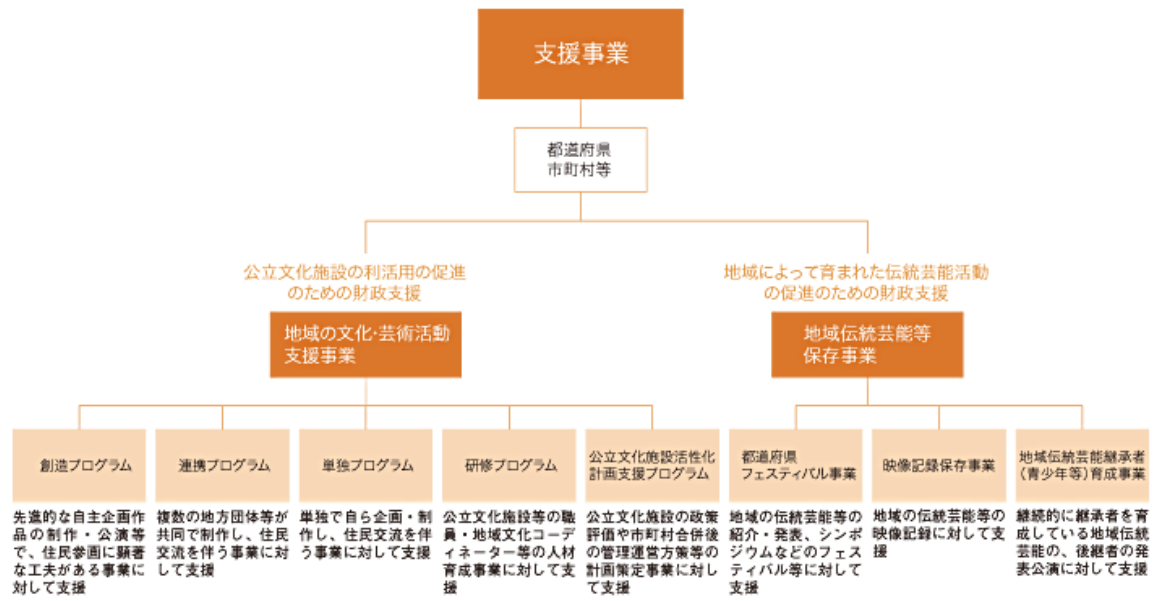
#### 【支援事業】

創造性豊かな地域づくりを実現するため、地方公共団体や関連の公益法人などが地域の公立文化施設などを活用して自主的・主体的に取り組む事業に対し、財政的な支援を行っています。

#### 【自主事業】

地域における人材の育成や公立文化施設の活性化、ネットワークづくり、地域の情報発信等を図ることを目的に、地方団体と連携し、財団が主体的となり、様々なプログラムを実施しています。

● 事業体系図



## 2. 支援事業

### [1] 地域の文化・芸術活動支援事業

全国の地方団体等が主体的に取り組む事業に対し、支援を行っています。  
地域のニーズを踏まえ、以下のプログラムを設けています。

#### ● 単独プログラム

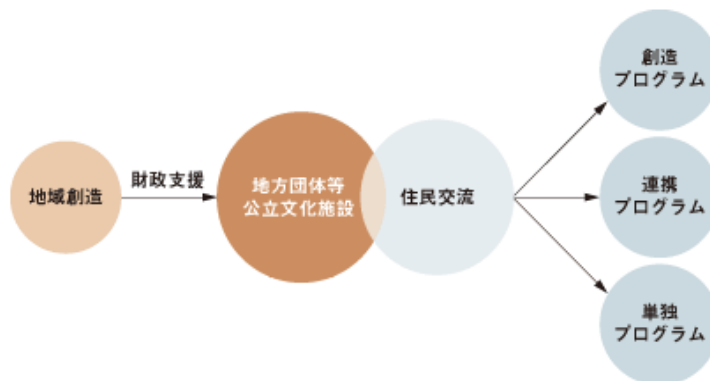
地方団体や公立文化施設が主体的に企画する公演等を支援しています。

#### ● 創造プログラム

先進的で特徴ある創造事業については最長3年にわたり支援しています。

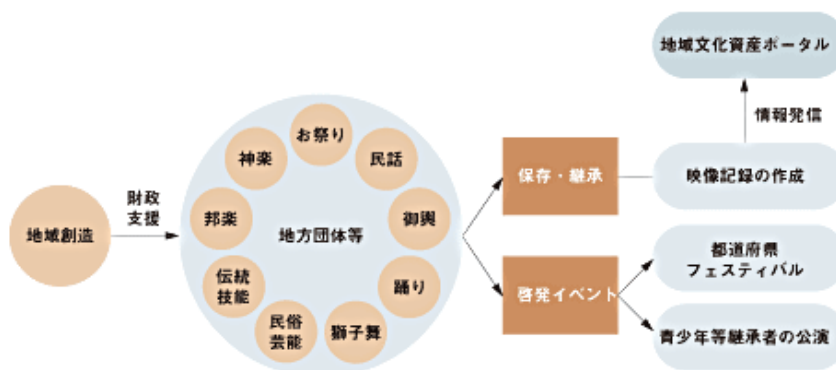
#### ● 連携プログラム

複数の地方団体等が連携して取り組む事業を支援しています。



### [2] 地域伝統芸能等保存事業

- ・ ふるさとの誇りである伝統芸能等の促進を財政的に支援しています。
- ・ 地方団体が行う伝統芸能等の映像記録の作成を財政的に支援し、広く全国に発信しています。
- ・ 地域における伝統芸能フェスティバルや青少年等の継承者による発表公演などを支援しています。



### 3. 自主事業

#### [1] 研修交流事業

地域における芸術環境づくりを担う人材の育成を図るため、以下の研修事業を行っています。

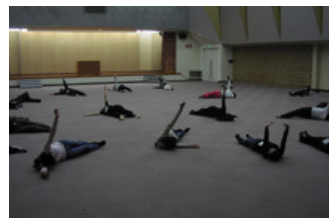
[ 代表的な研修プログラム ]

- ステージラボ
- ステージラボ・マスターコース
- 市町村長セミナー

#### ステージラボ

公立文化施設等の職員を対象に、事業の企画制作、施設運営、地域との関わりなど、ホール、劇場等のソフト運営に欠くことのできない要素を体得するための研修会で、講師には文化施設運営の実務家や芸術家を招き、1コース定員20名の少人数制で年2回開講している短期集中研修です。

『ホール入門コース』『自主事業企画・制作コース(音楽/演劇)』『文化政策コース』など、受講者が実践的な研修を選択できるようなコース編成を行うとともに、毎回、その領域を代表するコーディネーターを委嘱してカリキュラムを作成しているのが特徴です。また、芸術体験ワークショップやグループディスカッションなど講師と参加者の双方向のコミュニケーションを重視しているのも大きな特徴のひとつです。



## [2] 公立文化施設活性化推進等事業

公立文化施設の利活用の促進と公立文化施設職員の企画制作能力を高めることを目的に実施しています。また、当事業のほとんどが以下の特徴を基本的な枠組みに設定され、多様なプログラムを実施しています。

### [ 事業の特徴 / 基本的な枠組み ]

#### ● 人材育成／専門家（コーディネーター）の派遣

公立文化施設職員に企画制作能力を高める機会を提供するため、事業の実施に際しては、地域での芸術活動に詳しい専門家を派遣しています。

#### ● アーティストの派遣

優れた芸術表現技術と親しみやすいコミュニケーション力を有し、かつ、今後の活躍が期待される若いアーティストを派遣しています。

### 公共ホール音楽活性化事業 / 公共ホール音楽活性化支援事業

地域のクラシック音楽分野における創造的で文化的な芸術活動のための環境づくりを行うため、地域の公共ホールに演奏家とコーディネーター（地域での演奏活動に詳しい専門家）を派遣し、その地域ならではのコンサートと地域交流プログラム“アクティビティ”を実施する事業です。

オーディションで選ばれたクラシック音楽の新進演奏家（登録アーティスト）を市町村に派遣し、地域の公共ホールと共同でホールコンサートとアウトリーチ活動を企画し、実施します。



また、この事業は、新進演奏家への活動機会の提供といった視点でも重要な役割を担っており、近年では登録期間を修了した演奏家が全国の公共ホール／地域で活躍しています。



## 公共ホール現代ダンス活性化事業

コンテンポラリーダンスのアーティストを市町村に1週間程度派遣し、地域の公立ホールと共同でワークショップや公演などを企画、実施するものです。

自己表現力やコミュニケーション能力などを自然に引き出すワークショップを通して、参加者の表情が生き生きと変わっていく感動の場面が各地で報告されるなど、学校の先生方をはじめ多くの方からワークショップのもつ効果に高い評価をいただいているほか、公演を通して、新しい鑑賞者層の掘り起こしにも一定の成果があがっています。

登録アーティストは、芸術性の高さはもちろん、地域との交流を図るワークショップ等の経験も豊富な方々を全国公募により選考しています。

また、この事業に参加する公立ホールの職員の方を対象にした研修会の開催をはじめ、コーディネーターによる企画から実施までの支援など、初めてコンテンポラリーダンスの事業に取り組むうえでのサポート体制も整備しています。



## 公共ホール演劇ネットワーク事業

地域創造と複数の公共ホールの連携により、一つのカンパニーが地域に滞在してアウトリーチ事業と演劇公演を実施するものです。事業を通じて地域の観客創出と育成、参加ホールの職員のレベルアップを目指します。



## 公立美術館巡回展支援事業

開催館が実行委員会を組織し、自主的に企画立案した、開催各館の所蔵品を活用した巡回展の実施を支援します。



## 地域伝統芸能まつり

地域伝統芸能等についての国民の理解を深め、それらの保存活用、継承、及びそのことを通じた地域の活性化に関する機運を全国的に盛り上げることを目的として、全国各地の伝統芸能、古典芸能が一堂に会して実演を披露する「地域伝統芸能まつり」を毎年開催しています。



### [3] 調査研究／出版／情報発信等

#### 調査研究

地域の公立文化施設の実態を把握する調査を行い、地域の芸術文化環境づくりについて全国的な視点から分析・研究を行っています。

研究のテーマには、ボランティア、住民参加、舞台技術、教育普及(アウトリーチ)、指定管理者制度等、公立文化施設の運営者にとって関心の高い事柄をいち早く取り上げてきました。調査結果は報告書で公表するとともに、その成果を財団が発行する雑誌の特集やシンポジウムに活かしています。

#### 定期刊行物

月刊地域創造レター、雑誌「地域創造」や実用専門書の出版を行い、インターネットで積極的に情報提供しています。

